

報告第1号①

「75歳以上の高齢者世帯名簿」の紛失について

福祉部 福祉総務課

1 事案の内容

(1) 漏えいした保有個人情報

米島の一部区域内の75歳以上のみの世帯員で構成される世帯の世帯員の情報（氏名、読み仮名、住所、生年月日、年齢）が掲載された高齢者世帯名簿

(2) 件数

48件

2 経緯

(1) 令和6年2月1日開催の民生委員・児童委員協議会役員会において、各地区会長に高齢者世帯名簿（以下、「名簿」という。）を貸与し、その後、各地区会長から各民生委員へ名簿を貸与した。

(2) 令和7年2月19日に民生委員1名から名簿を紛失したと報告が入った。自宅内での紛失のため、再度、自宅内を捜索するよう依頼したが、2月28日に見つからなかったと地区会長から報告があった。

(3) 名簿は外部に持ち出しておらず、令和6年12月末頃に民生委員関係の書類を整理した際に誤って廃棄してしまった可能性があるとのことであった。

3 その後の対応

(1) 対象者への報告・対応

令和7年3月6日に対象者全戸への訪問を実施した。訪問日現在の対象者47人中、34人と面会し、不在者13人には不在票と謝罪文を投函した。訪問にあたり、苦情は発生しなかった。

(2) 事象に関する報告について

- ①市長と副市長に紛失事象について報告。
- ②4月3日に記者発表を行い、埼玉新聞から取材を受け、翌日の朝刊に掲載される。
- ③ホームページにおいて、謝罪文の掲載を行う。
- ④全民生委員に対し、文書にて紛失事案を報告し、他に名簿の紛失等がないか確認を行った後、令和6年度分の名簿を全て回収した。
- ⑤令和7年2月に令和7年度分の名簿を専用のファイルに綴り、民生委員に貸与した。

(3) 問い合わせ状況について

現在のところ市民等からの問い合わせはない。

4 問題点・課題の分析

- ・名簿は、A3用紙に印刷、ホチキス止めをした状態で渡しており、他の書類との混同や誤廃棄の恐れがあった。令和6年9月に同様の紛失事案が発生しており、再発防止策として、定期的な名簿の所在確認や個人情報に関する研修を実施したが、既に配付している名簿の回収や保管方法の変更は実施していなかったことが今回の紛失に繋がった。

5 再発防止策

- ・名簿の配付時に専用のファイルへ綴り他の書類と混同しないようにし、各自で所定の場所を決めて保管する。
- ・民生委員に対し、個人情報保護に関する研修を実施し、個人情報の取り扱いについて、改めて注意喚起を行う。
- ・月に一度、民生委員全員に名簿の所在確認を実施し、最後に確認した日付を記録する。
- ・名簿は福祉総務課職員から各民生委員に対し、直接渡す。
- ・名簿の必要性や保管方法についての調査を民生委員向けに実施したところ、名簿は不要という委員や一定期間後に名簿の返却を希望する委員がいたため、名簿の返却を希望する場合は福祉総務課で保管することとした。

報告第1号②

卒業アルバム印刷業者情報漏えいの疑いについて

学校教育部 指導課

1 事案の内容

(1) 情報漏えいのおそれがある個人情報

粕壁小学校及び春日部中学校の卒業生と教職員の氏名

(2) 件数

粕壁小学校 平成28年度138人

春日部中学校 平成28年度396人、平成29年度315人

2 経緯

(1) 小学校と中学校は、業者に卒業アルバムの制作を委託した。

業者は、株式会社イシクラにアルバムの印刷を再委託した。

(2) 株式会社イシクラのウェブ入稿システムが、令和6年5月にランサムウェアから攻撃され、サーバーに保存していた849名分の児童生徒、教職員の氏名が漏えいした可能性があることが判明した。

(3) 株式会社イシクラは、令和6年5月に国の個人情報審議会へ報告した。

(4) 株式会社イシクラは、業者に本件について報告した。

(5) 令和7年4月25日に業者より粕壁小学校、春日部中学校へ不正アクセスの被害についての一報が入り、本件が判明した。

(6) 令和7年4月25日に学校は指導課へ本件について報告した。

3 対応

(1) 指導課から株式会社イシクラに連絡をし、事実確認をした。また、各学校へアルバムの印刷会社に関わる調査を行い、実態把握に努めた。

(2) 令和7年4月30日 市長、副市長へ重大事象報告をした。

(3) 令和7年5月1日指導課職員が、粕壁小学校と春日部中学校へ赴き、株式会社イシクラの情報漏えいのおそれについて情報を共有し、今後の対

応について協議した。

- (4) 指導課より個人情報保護委員会へ漏えい等報告をした。(令和7年5月2日速報、令和7年5月16日確報)
- (5) 令和7年5月12日 本件について報道機関への情報発信をした。また、市のホームページに本件を掲載し、情報漏えいのおそれのある方へ周知した。

4 問題点・課題の分析

学校がアルバム制作を依頼をした際に、不要になったデータの適正な処理の見届けや確認をしていなかった。

5 再発防止策

校長研究協議会及び教頭研究協議において、管理職に本件を周知し、個人情報の取り扱いについて注意喚起するとともに不要になったデータの適正な処理について指導した。